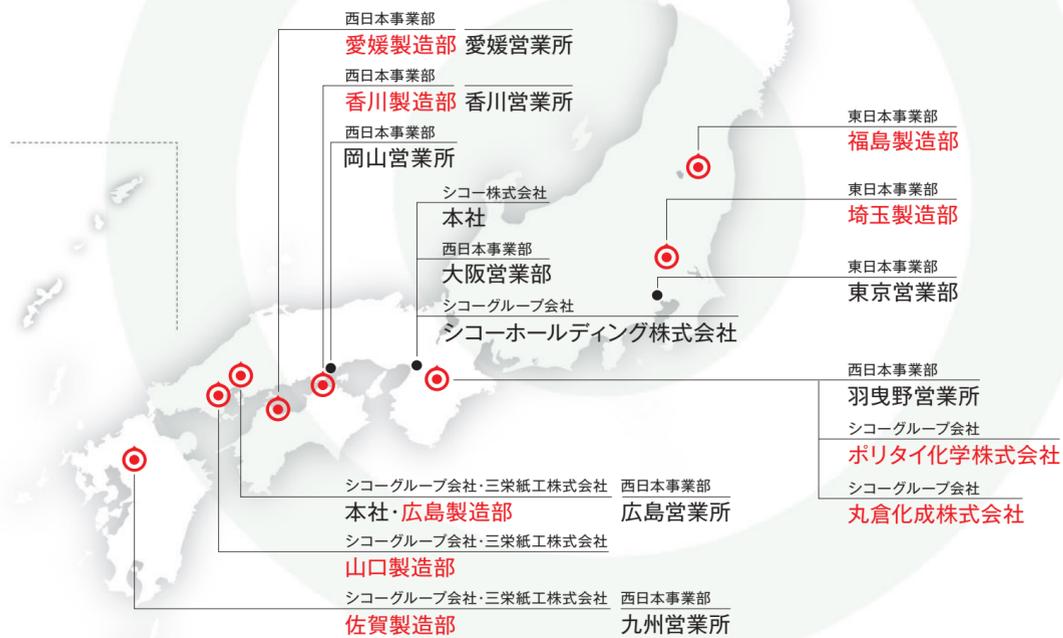


# Locations

◎ 全国の拠点

## 東西に8つの製造拠点を展開 全国のお客様へ安定的な供給を。

全国に8つの製造拠点を持つシコーでは、同じ品種の製造拠点を東西に有しています。これはお客様へのスピーディな供給を実現すると同時に自然災害などが発生した場合でも供給責任を果たせるようにリスクの分散を図るためです。私たちはこれからも品質の維持・向上と安定供給への取り組みに全力を注いでいきます。



# Company Outline

◎ 会社概要

名称	シコー株式会社
所在地	〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目1番3-1500号 大阪駅前第3ビル15階 TEL(06)6345-8456(代)
設立	昭和25年11月2日
資本金	1億円
従業員数	220名(2021年6月現在)

代表者名	代表取締役 社長 白石 忠臣
役員	取締役副社長 前 俊雄 常務取締役 野口 正美 監査役 山本 達二
事業部	東日本事業部 / 西日本事業部
事業内容	大型紙袋 / PE重包装袋 / プラスチックダンボール / 各種産業用包装資材 製造・販売
グループ会社	三栄紙工株式会社 ポリタイ化学株式会社 シコーホールディング株式会社 丸倉化成株式会社

シコーに関するお問い合わせ、  
サンプルの申し込み、  
ご相談、ご意見はこちら

✉ info@siko.co.jp  
🌐 <http://siko.co.jp>  
☎ 0120-947-296 営業時間 9:00~17:30

包むカタチを創造する  
**シコー株式会社**  
〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目1番3-1500号  
大阪駅前第3ビル15階  
TEL(06)6345-8456(代)



シコーは会社組織として70年超、創業までさかのぼると100年の歴史を持つ包装資材メーカーです。2021年6月をもって社長に就任した私は、諸先輩が育ててくれたこの樹齢100年の木から、新しいマーケットや海外市場に向けて大きく枝葉を伸ばし、さらなる成長を目指したいと考えています。生産性や顧客満足度の向上を図るデジタル化の加速をはじめ、従業員と共に新たなフィールドに挑み、お客様の期待にお応えしてまいります。

経営理念「感動の共有」のもと、お客様、お取引先様、協力会社様、そして従業員とその家族、すべてのステークホルダーと喜びを共有し、多様なテーマに従業員全員が参画しチャレンジを続ける“オモロイ”会社になりたい。そして持続可能な社会の発展に貢献できる企業でありたいと考えています。引き続きご支援・ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 社長 白石 忠臣

# START!



# Strong Point

◎シコーの強み



作業効率アップ



荷崩れ防止



物流コスト削減



粉漏れ防止

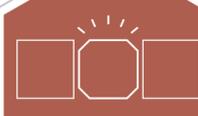


通気・防水の両立

現場のあらゆるお悩みに対応



クリーンルーム対応



陳列の差別化



## 思考するものづくり

### 独自の開発力・スピード感でお客様の課題の解決へ

#### さまざまな機能袋をご提案

コスト削減や作業効率の向上、省スペース化など、物流や包装資材に関する課題はお客様によって異なります。また袋詰めする商材、用途、あるいは業界によってもお悩みは千差万別です。これらお客様の「包む」に関する課題に、独自の開発力でお応えし、解決策をご提案できるのがシコーです。荷崩れ防止や粉漏れ防止機能を持ったクラフト紙袋、脱気が可能で吸湿を防ぐポリエチレン重袋、水に溶ける袋など、多彩な機能をもった製品のご提案により、お客様のビジネスに付加価値のご提供を目指しています。

シコーのものづくりは、まずお客様の声にしっかりと耳を傾け、考えることからスタートします。思考するものづくりの由縁です。

#### 製造・営業一体の開発

製品開発に強いシコーですが、社内に「開発部」は設けていません。なぜなら営業・製造・支援の各部門がワンチームとなり、お客様の課題にお応えする方法をそれぞれの視点で追求し、融合していくからです。「お客様のために」という意識が製造・営業で一貫しており、部門間の風通しのよさが最適なソリューションのスピーディなご提案につながっています。実はこのスピードもシコーの強み。お客様から信頼を得ている理由のひとつです。

さらに、社内には試作・開発ラボを設置し、変化する市場を先取りした開発にも取り組んでいます。品質基準の厳格化や製造現場での自動化が進み、より高品質な包装資材へのニーズが高まるなか、新たな開発テーマにも挑戦しています。

### “プロが選ぶプロ”の技術で世の中になかった製品を生み出す

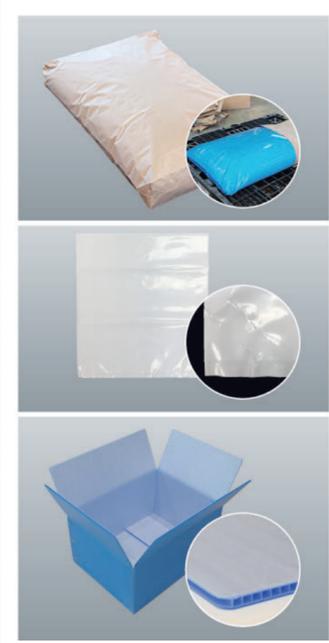
#### 多彩な技術・ノウハウを融合

シコーでは、クラフト紙袋、ポリエチレン重袋、プラスチック段ボールを中心に、汎用品から機能袋まで「包む」商材を多数開発しています。これら多様な技術・ノウハウを自在に組み合わせたソリューション提案が私たちの強みです。

たとえば、省スペース化・コスト削減の課題に対して、段ボールの代替としてクラフト紙袋の「アレンジバッグ」を提案し、供給できる技術を持っているのはシコーならではの、です。また、お客様の生産ラインや設備にあった袋の提供など、オーダーメイドのリクエストにもお応えします。こうした実績から「シコーに依頼した方が早くて安心だ」と、同業他社様からもご要望をいただき、OEM製品も多数製造しています。

#### ボーダレスな発想が強み

既存概念にとらわれることなく、柔軟な発想で新しいフィールドにも果敢に挑戦する。創業以来変わることはないシコーのもの



## 試行錯誤できる技術力

### 多様な製造設備×技術の研鑽で高機能製品を製造

#### オンリーワンの機械開発も

多くの生産品目を製造するシコー。国内8つの製造部では、機械メーカーとの共同開発によるオンリーワンの機械を含め多様な製造設備を保有し、お客様のニーズにフレキシブルに対応できる生産体制を構築しています。たとえばご要望に合う製品を製造するための機械設備のカスタマイズも可能です。「コンタミ防止と脱気の両立」そんなお客様のお悩みを自社設備の改造でクリアした例もあります。

お客様の課題解決につながる機能を持った製品を安定供給するためにはどうすればいいのか、そのための試行錯誤ができる製造設備と技術力がシコーの強みです。

#### 技術力は人が作りあげる

生産性向上を目指し、設備の自動化や省力化ラインの導入など新たな技術の研鑽にも余念がありません。同時に「技術は人である」との考えから、人材教育に力を注ぎ、技術の継承にも努めています。「自分の機械は人任せでなく、自分で保全できることを目指そう」と、製造現場の従業員に機械保全技能士の国家資格取得を奨励し、個々のスキルアップとモチベーションアップに全社を挙げて取り組んでいます。

機械加工品のみならず手加工品にも強いのがシコーです。愛媛製造部ではポリ差しに特化した「シコークリーンワークス」を設置。高いスキルを持った技術者を確保し、異物混入防止の徹底・空調完備の最新の

作業環境で、確かな品質の手加工品を製造しています。



## 至高を目指す品質管理

### お客様の信頼を得る高い品質基準、確かな改善活動

#### 安定供給を維持する

食品から化学薬品、建材まで、お客様の大切な商材を「包む」包装資材メーカーとして、品質の維持・向上は何より重要なミッションです。そこで私たちは品質管理において厳格な取り組みを行っています。定期的な製造ラインの見直しや丁寧な検品作業を実施し、常に次工程を意識しながら各工程でチーム一体となった品質管理を

行います。そのうえで工程間の連携、徹底した検査を行っています。

不適合品が出た場合は素早く除外すると同時に、原因の究明と解決策の検討を行い、改善のスピードアップに努めています。確かな品質の製品を安定的にお届けするよう、製造・営業がチームとなり幅広い視点からの取り組みを続けています。

#### 独自の品質基準を設定

機能や規格といったお客様の多様なニーズにきめ細やかにお応えするため、シコーの製造拠点には、海外から導入した日本初の機械設備もあります。しかし、どんな機械や技術もシコー独自の厳しい品質基準を設定し、品質維持に努めています。

たとえばポリエチレン重袋に微細な穴を開ける海外発祥の加工技術を、シコーは日本で初めて導入し、独自の発想で肥料袋に展開。理想的な通気と高い防水力によって多くのお客様に採用いただいています。この微細な加工の品質維持を目指して、加工開始時及び終了時に二段階でそれぞれ異なる検査方法を行い、常に高みを目指した品質管理に努めています。

